

第118号

編集・発行

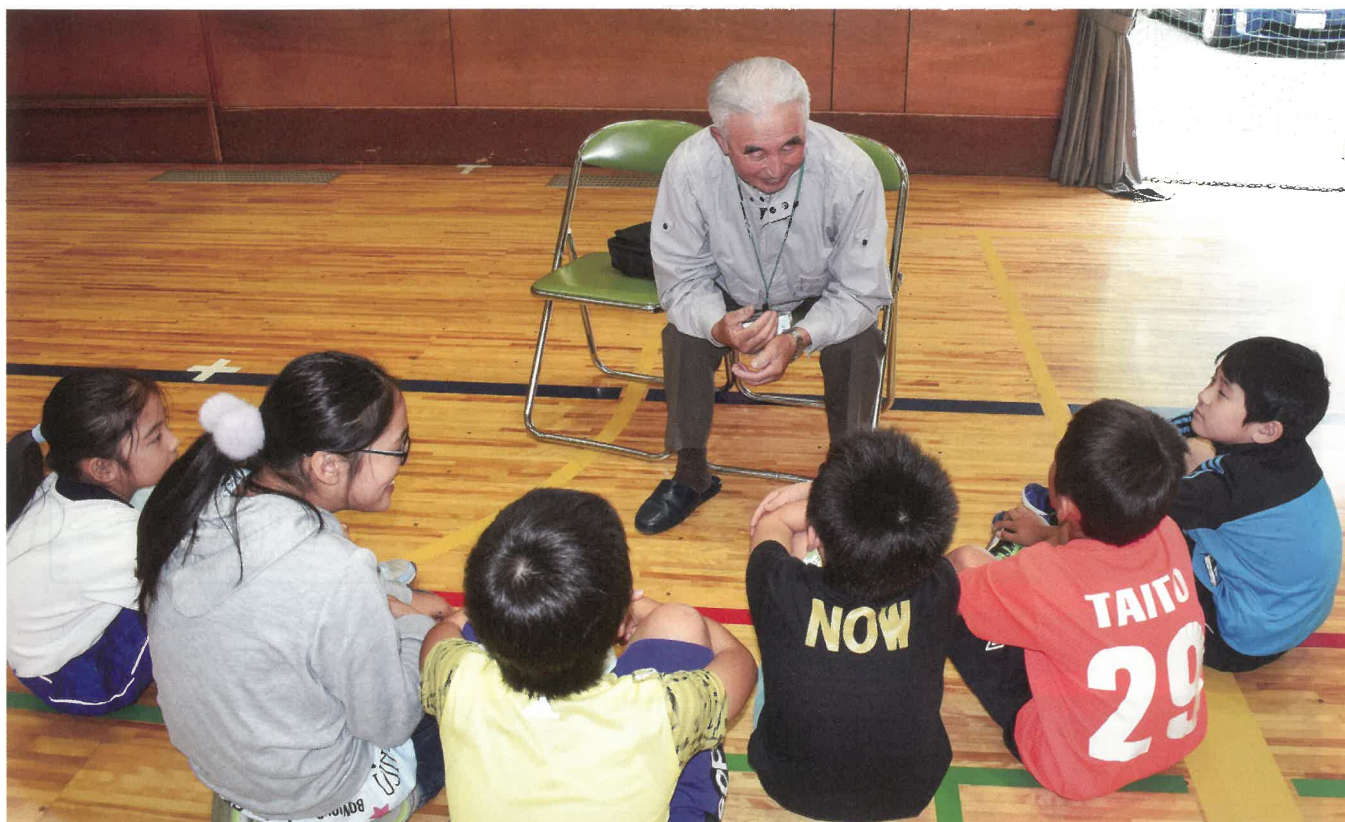
2018・11・27

社会福祉法人
三戸町社会福祉協議会

〒039-0132
三戸町大字在府小路町17
0179(22)0262

さんのへ 社協だより

住み慣れた地域で、だれもが安心して暮らせるような福祉社会をめざしてがんばります!!



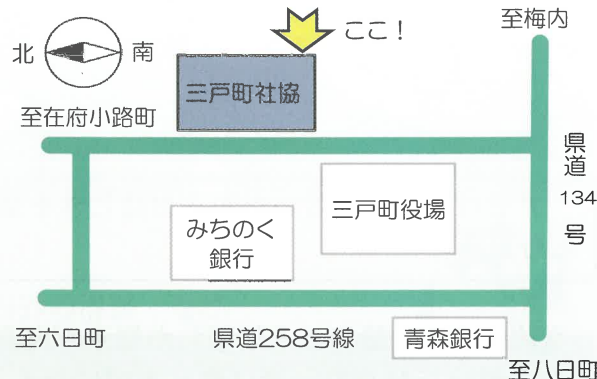
子どもほのぼの交流会 高齢者の体験談を聞く児童の様子（平成30年9月18日 三戸小・中学校体育館にて）

■おもな内容

ページ

- 子どもほのぼの交流会を開催 2
- 第18回全国障害者スポーツ大会
工藤匡史さんが金メダル獲得 3
- 第67回青森県社会福祉大会
三戸町から2名が表彰 3
- 障がい者と子どもの交流会 3
- 小中高生がボランティアについて学ぶ 4
- シニア料理教室の開催と参加者募集 5
- 福祉団体からのお知らせ 6~7
- シルバー人材センターからのお知らせ 7
- 善意の窓、除雪支援員募集、義援金の報告 8

社会福祉法人 三戸町社会福祉協議会



この社協だよりは、県共同募金会からの配分金と社協会費を使わせていただいております。

子どもほのぼの交流会を開催しました

子どもほのぼの交流会を平成30年9月18日に開催し、小中一貫三戸学園三戸小学校4年生の児童59名と地域の高齢者8名が、だるま落としやお手玉など昔親しんだ遊びを通じて交流を深めました。

交流会の開催にあたり、8月30日に児童に対してガイダンスを実施。「もしも三戸町が100人の町だったら」と題した人口や高齢者数に関するクイズや、三戸町と全国平均の比較を通じて、三戸町の高齢化の実態について学びました。また、白内障の症状を体験するゴーグルや手や指の動きを制限する手袋、重りを装着して、高齢者疑似体験を行い、新聞を読む、折り紙を折る、階段を上り下りするといった、普段当たり前に行っている行動が、高齢者の立場になるとどう変化するのかを体験しました。

ガイダンスを終え、児童からは、高齢者と接するときには大きな声でゆっくり話そう心掛ける、高齢者の動きに合わせる、やさしく接するようにしたいなどの感想が聞かれました。

ガイダンスの様子



三戸町の高齢化の現状を学ぶ様子。

三戸町を100人の町に置き換えたクイズでは、自分たちの予想以上に町には高齢者が多く、ひとり暮らしの高齢者がたくさんいるという現状に驚きの声が上がっていました。

クイズを楽しむ中にも、真剣な表情を浮かべる様子が印象的でした。

交流会の様子



アドバイスをもらいながらおはじきを楽しむ児童



だるま落としで児童にお手本を見せる様子

交流会では、最初こそ緊張した様子が児童たちに見えましたが、一緒に遊び、話す中で徐々に打ち解け、給食を一緒に食べる頃になるとそれぞれのグループで楽しげにお喋りをするなど、楽しい交流会となりました。ご協力くださいました小中一貫三戸学園三戸小学校の皆様、参加して下さった地域の皆様に心より感謝申し上げます。

第18回全国障害者スポーツ大会 工藤匡史さんが金メダル!!

平成30年10月13日から10月15日にかけて福井県で開催された「第18回全国障害者スポーツ大会～福井しあわせ元気大会～」で100m走と立ち幅跳びの2種目で金メダルを獲得した、三戸町身体障害者福祉会の工藤匡史さんが、大会成績を関向社協会長に報告しました。

工藤さんは現在48歳。全国大会への出場は平成17年の岡山大会に続いて、今回が2度目。

工藤さんおめでとうございます、今後ますますのご活躍を期待しています。



関向社協会長（左）と工藤匡史さん（右）
メダルの意匠は恐竜の卵をイメージした楕円形状に福井県花の水仙をあしらったもの

第67回青森県社会福祉大会 三戸町から2名が受賞

平成30年10月29日に青森市のリンクステーションホール青森において、第67回青森県社会福祉大会が開催され、その席上において、福祉の発展に寄与された方への表彰状及び感謝状の贈呈がなされ、三戸町からは本会職員2名が表彰を受けました。

この栄誉を励みにし、今後とも福祉の発展に尽力して参ります。

受賞者

民間社会福祉施設、社会福祉協議会、社会福祉団体の役職員の部

大平 君江 米田 真里子

障がい者と子どもの交流会を開催しました

平成30年8月8日に三戸町総合福祉センターふくじゅそうにおいて、障がい者と子どもの交流会を開催し、三戸町身体障害者福祉会の会員5名と地域活動支援センター憩いの森あすもこっの通所者5名、小中一貫三戸学園三戸中学校陸上部の生徒10名がボウリングゲームやフライングディスクなどのレクリエーションで交流しました。



交流会の最後には子ども達に文房具をプレゼントしました

小中高生が幼児・児童施設でボランティアについて学ぶ

平成30年8月1日から8月3日の3日間、平成30年度ボランティアスクールを開催し、小中高生27名がボランティアについて学びました。

8月1日は講師に八戸市社会福祉協議会の松井淳平氏を招いての講話を行い、ボランティア活動の歴史や活動で得られる喜び、また自分にはどんなボランティアが向いているかというタイプ別診断など、ボランティアについて広く学びました。

8月2日、3日は実際に幼児・児童施設で先生方の指導の元、園児の見守りなどの保育の補助や清掃などのボランティア活動を体験しました。

平成30年度体験施設

中央児童館 斗川児童館 中央保育所 三戸保育園 ミューズ保育園 いずみ幼稚園
ご協力いただいた幼児・児童施設の皆さん、ありがとうございました！

ボランティア活動の様子



水遊びや昼寝の見守り、給食の手伝いなど、元気な子ども達の相手は大変ですが、参加した生徒達はみんな、楽しかった！と話してくれました。

講話と閉校式の様子



講話を聞く様子

修了証交付の様子

集合写真

参加者からは

「大変だったが、子ども達や先生方の明るさに助けられた」

「まだ大きなことは出来ないが、身近なことから始めていきたい」

「ボランティアは色々な人と触れ合え、自分自身の成長にもつながる」

「自分の新たな一面を見つけた」といった感想がありました。

ボランティアスクールで体験したことや感じたことが、参加者のこれからの少しでも役立てば幸いです。

シニア料理教室を開催しました

シニア世代の男性を対象とした料理教室を8月31日に、同じく女性を対象とした料理教室を7月5日、8月9日、10月4日にそれぞれ開催しました。

男性対象の料理教室では、三戸町食生活改善推進員会「つくしの会」の皆さんを講師に、「料理経験の少ない男性でも無理なく作れる、栄養バランスの整った料理」に挑戦しました。

女性対象の料理教室では、栄養士の北村美恵子氏を講師に、家庭にある材料で「その時だけでなく家に帰ってからでも作れる、家族や孫に喜ばれる料理」に挑戦しました。

男性向け料理教室の様子



メニュー

- ・たこの炊き込みご飯
- ・タンドリーチキン
- ・なすの揚げ浸し
- ・わかめスープ

女性向け料理教室の様子



メニュー

- ・枝豆パン
- ・スパイシー肉巻き
- ・新玉ねぎのスープ
- ・セロリとミョウガのサラダ
- ・ヨーグルトゼリー

次回のシニア料理教室について

女性を対象とした料理教室を下記の日程で開催します、ご家庭での料理のレパートリーを増やしたい、新しい料理を覚えて家族を驚かせたい、料理を通じて交友を広げたい、など少しでも興味を持たれたら、担当までご連絡ください。

たくさんのお申込みをお待ちしています。

開催日	時間	場所	参加費
第4回 平成30年12月6日(木)	午前9時30分～	三戸中央公民館	各回500円
第5回 平成31年 2月7日(木)			

お申込みは開催日の1週間前までにお電話をお願いします

シニア料理教室に関するお問い合わせ(担当:水梨)

福祉団体トピックス

三戸町シニアクラブ連合会

第21回三戸郡老人グラウンドゴルフ大会 三戸町が団体の部で優勝！

第21回三戸郡老人グラウンドゴルフ大会が平成30年10月19日(金)に五戸町の小渡平公園で開催され、三戸町が総合優勝を飾りました。

三戸町からは9月26日(水)に開催した町の予選会の上位15名がこの大会に出場しました。

大会は各町村の上位3名の合計打数で争われる団体の部と個人の部が行われ、三戸町は個人戦でも1名が優勝、2名が入賞しました。

三戸町の団体優勝は11年振り2度目、喜びが溢れる大会となりました。



出場した選手の皆さん



競技中の様子

結果

団体の部

優勝 三戸町 231打

準優勝 南部町 239打

第3位 五戸町 242打

個人の部

男性の部 4位 沢田勉 6位 境澤巖

女性の部 1位 熊谷房

第44回三戸町シニアスポーツ大会 六日町百寿会が優勝！

第44回三戸町シニアスポーツ大会を7月26日(木)に町民体育館で開催し、11の単位老人クラブから110名の選手が参加し、熱戦を繰り広げました。

結果(3位まで)

優勝 六日町百寿会

準優勝 下二日町二葉会

下在府小路町寿幸会 合同チーム

第3位 大舌長寿会・上目時沼尻松葉会

下目時楽寿会 合同チーム



優勝した六日町百寿会の皆さん

会員は随時募集しています。入会を希望される方はお住まいの地区の老人クラブまたは社会福祉協議会の下記担当にお問い合わせください。

三戸町シニアクラブ連合会
(H30.4.1現在)

クラブ数:22クラブ

会員数:653名(男性243名、女性410名)

三戸町シニアクラブ連合会に関するお問い合わせ(担当:水梨)

三戸町身体障害者福祉会

第11回三戸郡身体障害者スポーツ大会に参加

第11回三戸郡身体障害者スポーツ大会が10月2日(火)に新郷村の美郷館で開催され、三戸町身体障害者福祉会から選手6名が参加しました。

三戸町は2年振りの優勝を目指しましたが、結果は第4位で惜しくも入賞を逃しました。

結果(3位まで)

優 勝 階上町

準優勝 南部町

第3位 五戸町



他町村と合同で行った玉入れ競技

会員は随時募集しています。入会を希望される方は社会福祉協議会の下記担当までお問い合わせください。年会費1,500円

三戸町身体障害者福祉会
(H30.4.1現在)

会 員 数:30名(男性19名、女性11名)

三戸町身体障害者福祉会に関するお問い合わせ(担当:梅田)

シルバー人材センターからのお知らせ

シルバー人材センターとは

高齢者が働くことを通じて生きがいを得ると共に、地域社会の活性化に貢献する組織です。

1. お仕事を依頼したい方

どんなご依頼でも、まずはお相談ください。ご依頼は直接来所いただくか、お電話でも受け付けております。

依頼を受け付け後、現場を確認してお見積書を発行しますので、料金等に納得いただいた上で正式な契約となり、作業が開始されます。

お仕事の相談

→ 現場確認

→ お見積り

→ 契約

→ 作業開始

2. お仕事をしたい方

60歳以上で、健康で働く意欲があれば誰でもシルバー人材センターに入会できます。

入会後は、シルバー人材センターが窓口となって仕事を受注し、会員にお仕事を紹介します。紹介されたお仕事を引き受けるかどうかは、内容を確認した上で、会員自身が判断できますので、無理のない範囲でお仕事ができます。

シルバー人材センターに入会

→ お仕事の依頼に応じて就業

→ センターが配分金を支給

3. お仕事の内容(主なもの)

草刈り、植木の整備、雪かき、農作業全般、屋内外の清掃 など



三戸町シルバー人材センター
(H30.11.1現在)

会 員 数:30名(男性18名、女性12名)

三戸町シルバー人材センターに関するお問い合わせ(担当:中村、梅舘)

善意の窓

ご寄附をいただいた皆様、ありがとうございました。
(平成30年9月1日～平成30年10月31日まで)

寄附金の部

- ・生涯学習塾 狐狸庵 様 15,000 円
- ・箸木山町内会リサイクル 様 20,000 円

寄せられた善意は地域福祉活動のために使わせていただきます。

除雪支援サービスの有償ボランティアを募集します

三戸町社会福祉協議会では、高齢者世帯等に対し概ね15センチ以上の降雪があった際に玄関から道路まで除雪を行う除雪支援サービスを三戸町から受託して実施しています。

この除雪支援サービスの担い手である支援員は地域の有償ボランティアで構成されており、去る11月8日に支援員を対象とした説明会を開催しましたが、いよいよ冬本番を迎えるにあたり、より充実した体制で事業を実施するため、除雪支援員を広く募集します。



◇ 募集内容 ◇

業務内容	登録された高齢者世帯等の除雪作業 除雪範囲：玄関から道路までの区間(庭や屋根雪などは対象外) 概ね 60 センチの幅
応募条件	年齢性別不問
出勤の要件	概ね 15 センチ以上の降雪があった場合(区域の除雪支援員の班長が判断します)
謝 金	除雪作業1時間あたり1,000 円(交通費及び諸経費含む)
活動期間	平成 31 年 3 月 31 日まで
応募方法	下記担当までお電話ください
その他	除雪に使用するスコップは本会で貸出します

除雪支援サービスに関するお問い合わせ(担当:梅田、中村)

平成30年7月豪雨災害に対する義援金について(報告)

義援金総額 22,929円

皆さまから寄せられた義援金は青森県共同募金会を通じて、被災地の支援に役立てられます。ご協力をいただきありがとうございました。

●お問い合わせ 三戸町社会福祉協議会まで TEL.22-0262